

花高同窓会会報



第114号

発行 平成29年11月20日

秋田県立花輪高等学校
同窓会事務局

〒018-5201 鹿角市花輪字明堂長根12

TEL0186-23-2126 FAX0186-23-2137

URL <http://www.ink.or.jp/~hanakoudosou/>

印刷 (株)大館印刷



故郷の繁栄を願って



花輪高校同窓会 会長
井上 高 廣 (高18期)

井上 高 廣 (高18期)

私たちが住む鹿角は、十和田八幡平国立公園に囲まれ、自然が豊かで台風や地震などの災害も少なく、雪が多いことを除けばきわめて住みやすい良い所です。ここに住む人々は言葉が優しく温和な人が多く、ホッと安らげる場所であり子どもを育てる環境にめぐまれている所だと感じています。現在はユネスコ無形文化遺産になる行事が二つもあり、地域の方たちは住みよい街づくりに努力をしています。

この大好きな鹿角が最近急激にさみしさを感じるようになってきました。鹿角市の出生数は、今年の高校三年生が約三〇〇名でしたが昨年度は一五八名、子どもたちの数がどんどん減っています。全国的に人口減少・少子高齢化が進んでいます。秋田県はその進み方が全国一で、当然のことのように鹿角も急激に進んでいます。自然が豊か過ぎて毎日熊情報が出れば、熊と共存していかなければならない環境になってきました。また、民放の天気予報では秋田県の地図に鹿角の予報が無くなってしまいました。

一番大きな原因は、若者たちが故郷に残りたい、あるいは帰りたくても希望する職業がきわめて少ないからではないでしょうか？鹿角に住む者として、これで良いの

かと不安を感じています。年齢を重ね健康に不安を感じてきたこの頃、受診したい病院や診療科が無いなど不安は増幅していますが、さらに鹿角市内に産婦人科が無くなるという話を聞くと益々ここに住んでいて大丈夫かと感じられてなりません。

問題はいろいろあるのでしょうが、解決方法の最も大事なのは雇用が増えることだと思います。これまでも企業を誘致して雇用の場を増やす努力をしてきたのですが人口減少に歯止めはかかりません。全国に住んでいる鹿角出身者、特に花輪高校の同窓生から鹿角を救ってくださいます。また、鹿角地域で起業し雇用の場を作ってくれるような人を育てられる母校になってほしいものです。

これから鹿角の三高校が統合され、新しい学校ができるわけですが、特色ある学校を作り、地元が生徒だけではなく全国から生徒が集まり、地域の活性化に貢献できるような学校を作っていたらいいと願うばかりです。

横顔

●会長 四期目 ●職歴 西仙北
高校長、能代高校長 ●趣味
ゴルフ、スキー、旅行 ●特技 野菜
作り ●座右の銘 至誠力行

第五回

同窓会ゴルフコンペ



於 大館CC

七月三十一日、第五回花輪高校同窓会ゴルフコンペが二十一名の参加者で開かれました。(うち二回は中止)

今年も趣向を変えて学年対抗とし、ベリアスコアの結果、十九期の三人(倍賞勲、柴田恒一、佐藤隆夫)のチームが優勝しました。個人優勝は中西久雄(十八期)、ベストクロス賞は同じく十八期の井上会長でした。表彰後の懇親会も盛会で、来年も開催日とか企画を考え開催することを約束しました。(今回の参加者は十八期〜二十六期でした)

平成30年度 総会開催のご案内

- ・日時：平成30年5月12日(土) PM5:00
- ・場所：鹿角市花輪 鹿角パークホテル
- ・会費：4,000円(懇親会費)



教え子達との旧交を温めて



校長 片岡 俊仁

この四月に、花輪高校校長として着任しました片岡です。私事で恐縮ですが、花輪高校には平成六年から十年間教諭として勤めさせていただいております。教職歴の中で最も長く、その分一番愛着を感じている学校です。大変光栄に思う分、精一杯努めさせていただきますのでどうかよろしくお願いいたします。

花輪高校に久しぶりに戻ってき、驚いたことが何点かあります。一点目は、校舎が堂々としていて、どこか洗練され、お洒落で使い勝手の良いことです。この校舎には、実は以前勤務した期間の最終年度の秋に引越していました。当時は気づかなかったのですが、その後、県内五校での勤務を経て、この校舎の素晴らしさを実感しています。

二点目は、生徒のスマートさ、素直さ、礼儀正しさでしょうか。これも本当に素晴らしいことです。何か物足りなさも感じております。当時は、もっと反骨心があったり無骨な生徒もいて、指導に手を焼いたものの「教え甲斐」も感

じていました。当時の教え子達と旧交を温めることが最近の楽しみになっていきます。

三点目は、花高同窓会が以前よりも活発であることです。教諭と校長という視点の違いもありますが、会員の強い結束と母校への熱い思いがひしひしと伝わり大変心強く思っております。これもひとえに井上会長様をはじめとする会員の皆様のご尽力のおかげと心から感謝申し上げます。

さて、昨年度に九十周年記念事業を盛大に行い、今年度九十一年目の年をスタートさせた本校ですが、昨年度、悪天候のため外で開催できなかった五月の運動会や六月の花高祭の仮装カーニバルも無事実施できました。また、九月に行われた強歩大会も熊の出没が非常に心配されましたが、無事終了でき、ほっとしております。あらたな歴史の一步を踏み出し始めた花輪高校ですが、生徒も職員も「文武両道」「人間力向上」を目指して邁進しております。今後とも会員の皆様の温かいご支援とご協力をお願いいたします。

横顔 昭和三十七年生まれ。新潟大卒。平成二十三年から大館鳳鳴、秋田、十和田、大館桂桜各高校の教頭を経て、今年度より花輪高校校長。趣味はランニング。座右の銘は「不易流行」「凡事徹底」等。

平成29年度 同窓会予算書

収入の部		単位：円		28年度
項目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	決算額
1. 会費	1,480,320	1,507,680	△27,360	1,808,800
(1) 会費	900,000	900,000	0	1,204,000
(2) 入会費	580,320	607,680	△27,360	604,800
2. 繰越金	734,462	546,180	188,282	546,180
3. 繰入金	0	2,283,756	△2,283,756	2,283,945
4. 諸収入	218	384	△166	153,253
合計	2,215,000	4,338,000	△2,123,000	4,792,178

支出の部		単位：円		28年度
項目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	決算額
1. 会議費	70,000	50,000	20,000	46,010
2. 会務金	770,000	910,000	△140,000	702,774
(1) 旅費	140,000	280,000	△140,000	120,296
(2) 消耗品費	10,000	10,000	0	10,000
(3) 通信費	550,000	550,000	0	516,808
(4) 振込手数料	70,000	70,000	0	55,670
3. 事業費	440,000	470,000	△30,000	388,330
(1) 印刷費	330,000	360,000	△30,000	306,108
(2) 記念品費	60,000	60,000	0	55,512
(3) 広告費	30,000	30,000	0	6,710
(4) 広報費	20,000	20,000	0	20,000
4. 渉外費	30,000	30,000	0	20,000
(1) 渉外費	10,000	10,000	0	0
(2) 慶弔費	20,000	20,000	0	20,000
5. 助成費	600,000	710,000	△110,000	585,000
(1) 部活動助成費	350,000	410,000	△60,000	335,000
(2) 進路指導助成費	150,000	150,000	0	150,000
(3) 支部助成費	100,000	150,000	△50,000	100,000
6. 備品費	14,000	14,000	0	12,722
7. 積立金	200,000	0	200,000	300,000
8. 繰出金	0	2,000,000	△2,000,000	2,000,000
9. 雑費	2,000	2,000	0	0
10. 予備費	89,000	152,000	△63,000	2,880
合計	2,215,000	4,338,000	△2,123,000	4,057,716

収入総額	2,215,000
支出総額	2,215,000
差引残額	0

定期預金 (H27積立分)	400,000
定期預金 (H28積立分)	300,000

平成28年度 同窓会決算書

収入の部		単位：円		27年度
項目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	増減(B)-(A)	決算額
1. 会費	1,507,680	1,808,800	301,120	1,545,000
(1) 会費	900,000	1,204,000	304,000	933,000
(2) 入会費	607,680	604,800	△2,880	612,000
2. 繰越金	546,180	546,180	0	991,289
3. 繰入金	2,283,756	2,283,945	189	0
4. 諸収入	384	153,253	152,869	10,357
合計	4,338,000	4,792,178	454,178	2,546,646

支出の部		単位：円		27年度
項目	本年度予算額(A)	本年度決算額(B)	増減(B)-(A)	決算額
1. 会議費	50,000	46,010	△3,990	42,325
2. 会務金	910,000	702,774	△207,226	584,306
(1) 旅費	280,000	120,296	△159,704	23,142
(2) 消耗品費	10,000	10,000	0	11,124
(3) 通信費	550,000	516,808	△33,192	502,250
(4) 振込手数料	70,000	55,670	△14,330	47,790
3. 事業費	470,000	388,330	△81,670	378,315
(1) 印刷費	360,000	306,108	△53,892	297,072
(2) 記念品費	60,000	55,512	△4,488	54,000
(3) 広告費	30,000	6,710	△23,290	7,243
(4) 広報費	20,000	20,000	0	20,000
4. 渉外費	30,000	20,000	△10,000	0
(1) 渉外費	10,000	0	△10,000	0
(2) 慶弔費	20,000	20,000	0	0
5. 助成費	710,000	585,000	△125,000	580,000
(1) 部活動助成費	410,000	335,000	△75,000	380,000
(2) 進路指導助成費	150,000	150,000	0	150,000
(3) 支部助成費	150,000	100,000	△50,000	50,000
6. 備品費	14,000	12,722	△1,278	13,000
7. 積立金	0	300,000	300,000	400,000
8. 繰出金	2,000,000	2,000,000	0	0
9. 雑費	2,000	0	△2,000	432
10. 予備費	152,000	2,880	△149,120	2,088
合計	4,338,000	4,057,716	△280,284	2,000,466

収入総額	4,792,178
支出総額	4,057,716
差引残額	734,462

定期預金 (H27積立分)	400,000
---------------	---------

※会費の納入ありがとうございます

ふるさとの空・ふるさとの友

佐藤 征治郎 (高10期)

さいたま市在住



この春、秋田県の人口が、戦後初めて百万人を割ったというニュースが話題になった。東北六県で初とも報道された。

一九五六(昭31)年の約二二五万人がピークというから、六十一年間で約三十五万人減少したことになる。ここ四、五年の自然減の拡大が減少ペースを速めたようだ。

ニュースを機に鹿角市の様子をネットで探ってみた。現在の市勢となった七十二(昭47)年四月、約五万人だった人口が本年三月末で三万二千人というから、その減少率はピークを基準にすれば県よりも大きい。

私が花高を卒業し、就職で鹿角(尾去沢)を離れたのは五十八(昭33)年。既に尾去沢鉾山が製錬部門などの一部を縮小し始めた時期で、就職先を県外に求める流れは自然だったと記憶している。もちろん五、六十年後の少子高齢化社会など予想だにされなかった時期でもあった。

国立社会保障・人口研究所は二〇四〇年の県人口が七十万に

なると推定しているともいう。その時はすでにこの世に居ないことは分かっているともいささか気にはなる。

人口減少との関わりでいうと、近年議論されている、鹿角三高の統合問題も気になることの一つだ。卒業生にとっても母校の存廃は重大関心事ではある。しかし、本年春の三校の募集定員と募集者数を、高校の適正規模という観点からみると、議論の俎上にはおいても不思議ではないような気がする。

因みに、手元にある卒業アルバム(58年)の同期五クラス、二二九人の顔写真をみるにつけ隔世の感を禁じえない。

統合の議論は何れにしても、卒業生にとって「花高」は永久に不滅です。共に学び鍛えた友や師は永遠の宝です。

卒業から来年三月で九十年。今日まで、仕事でも、地域での生活でも、秋田・鹿角出身であることがどんなにプラスしたことか。

本人や兄弟姉妹が花高の卒業生と分かっただけで、一気に打ち解けることができた事例は数えきれないし、助けられたことが圧倒的に多かったことは言うまでもない。とりわけ現在地で七十一(昭

46)年から十五年(平27)年まで、市議、県議、首長として十一回の選挙を経験したが、同郷・同窓というだけで、党派を越えて応援してもらった恩義を一生忘れれることはない。

時折口ずさむ自作の詩がある。

ふるさとの空 尾去沢の鉾山
鹿角の米代川 故郷の友
思いはめぐる 学舎の校庭
ともに鍛えし 花高の三年

ふるさとの誇りを次の代へ

常任幹事 海沼 寿和 (高51期)

自分たちで考え、取り組むことに未来がある。子どもたちとともに、盆踊りをはじめとする伝統行事の復活を通じて感じた私の思いです。

担い手不足や少子化等の影響で、集落単位の伝統行事の存続が難しくなってきた昨今、我々の集落も同様の課題を抱え、数年前から次の世代へ継承できない状況に陥っていました。

集落の賑わいを取り戻すために、自分たちに何が出来るだろうか。「夏井大太鼓親しむ会」として、復活に向け常に考え続けてきた課題であり、幾多の話し合いを重ねた末に辿り着いたのは、世代間交流という原点回帰でした。地域の歴史を紐解くと、我々の集

落にも先人の偉業や誇るべき歴史文化があり、子どもから高齢者まであらゆる世代が協力して、自らの手で地域を担おうとする気概に満ちていました。諸先輩方が築いた礎とこれまでの学びを糧に、地域一丸となって新たに作り組んだ「子ども太鼓コンクール」では、練習期間から青年会や子ども会、老人クラブなど多世代の交流が生まれ、地域の新しい魅力を作り出すための機運を高める一つのきっかけとなりました。

ふるさとへの愛着と誇りを次の世代に伝えていくためには、私たち大人が率先して行動を起こすことが大切だと思います。同時に子どもたちの声にも耳を傾け、新しい価値観を共有していくことで、持続可能な魅力ある地域づくりを実現していけるのではないのでしょうか。



青年会やOBが力を合わせ、盆踊り太鼓を子どもたちに指導

平成29・30年度 役員決まる!!

顧問 石井 トシ (女6期)

村山 正 (高3期)

関 栄市郎 (高4期)

杉江 宗祐 (高10期)

三ヶ田正彦 (高10期)

阿部 洋一 (高3期)

木村 芳美 (高6期)

井上 高廣 (高18期)

佐藤 隆夫 (高19期)

小田 修 (高20期)

神田 昭治 (高20期)

山田 徹弘 (高26期)

児玉 政明 (高42期)

安保 隆二 (高22期)

田中 政幸 (高29期)

高見 映昭 (高30期)

山田 良志 (高34期)

黒沢 新六 (高16期)

吉村 アイ (高19期)

勝又 幹雄 (高19期)

竹田 孝雄 (高20期)

北村 正人 (高22期)

田中 覚 (高25期)

奈良 努 (高25期)

山本喜代宏 (高26期)

大澤 宏子 (高26期)

阿部 浩一 (高30期)

阿部 克廣 (高34期)

金澤 大輔 (高44期)

中村 光伯 (高45期)

吉田 孝子 (高47期)

海沼 寿和 (高51期)

木村 幸樹 (高51期)

木村 真寿 (高52期)

総会記念講演

「これからの鹿角観光の目指すもの」



十和田八幡平観光物産協会 会長 千葉潤一 (高29期)

(龍門亭千葉旅館六代目館主)

現在へとつながる旅の原型が... 観光事業者のみで、ある種の利益を、全ての住民が思いを共有して...

そして時は現代。高度経済成長期でのマスツーリズム(大衆観光)を経て現在に至り、旅のカタチは成熟度を増し、インターネット等の情報手段の発達もあり、誰もが自ら旅先の情報を入手して気軽に...

バス等々、他地域からすれば羨望の的となる地域資源が多数存在している。それらを更にブラッシュアップし、また、新たな資源を掘り起こし、加えて、観光消費が地域経済に環流して地域全体が豊かになる仕組みを本気で構築することが喫緊の課題であろう。

二〇〇三年、小泉純一郎首相は「任んでよし、訪れてよしの国づくり」を掲げて観光立国を目指すことを宣言した。任んでよし、即ち、そこに住む人々が地域を愛し、誇りを持ち、豊かさを享受して生活しているなら、国の内外の多くの人々がそこを訪れたいくなるのである。

柿が色付いてきました

副会長 山田 徹弘 (高26期)

我が家の庭の柿が黄色く色付いてきました。一昨年までは仕事が忙しくて見向きもしなかった柿の木でしたが、昨年退職してからは...

母校の発展を願う

常任幹事 山本喜代宏 (高26期)

私は第二十六期、一九七四年の卒業である。あれから四十三年がたち、還暦を過ぎてからの同窓会役員、何ほどのことができるのか自信はない。

高卒後県外で二十年過ごしてきたが、駅伝やスキーなどで花高生の活躍がマスコミに登場するたびに故郷への懐かしさがこみ上げてきたことを思い出す。県外で働く者にとって母校は心の支えであったのだ。

～高校の統合について～

鹿角市郡の三高校の統合と、その方向性が昨年県教委より示されました。今年には地元調整のための検討委員会が立ち上げられるようです。



副会長 小田 修 (高20期)

美しく、燃えるような満開の桜を眺めながら、入学し、卒業したものです。「学び舎」はそれぞれの青春の甘酸っぱい思い出のなかにしか残らないものかもしれません。